

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院及び虎の門病院分院肝臓内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

2005年 1月 ～ 2017年 3月に、肝細胞癌に対して肝疾患にて虎の門病院及び虎の門病院分院に入院・通院し、従来治療が困難で粒子線治療を受けられた方です。

【研究課題名】

肝細胞癌患者における粒子線治療に関する検討

【研究の目的・背景】

《目的》

肝細胞癌患者において、虎の門病院及び虎の門病院分院における粒子線（陽子線、重粒子線）治療の有効性を明らかにすることを目的とします。

《研究に至る背景》

近年、定位照射など高線量域をより限局させる照射法の開発や腫瘍の呼吸性移動を考慮した治療法の開発の技術的な進歩に加え、肝の放射線に対する耐容性の知見も示されております。それによって肝腫瘍に対して高線量の照射を安全に行うことが可能となり、高エネルギーX線をを用いたHCCの治療で高い局所制御率および良好な生存期間が報告されております。また、X線に比べて線量集中性に優れる陽子線や炭素イオン線のような荷電粒子線を用いた治療でも、HCCに対する優れた局所効果や良好な長期成績が示されているものの、粒子線治療は保険適応にはなっておらず自費診療となるため、症例数が限られているのが現状です。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2017年8月18日 ～ 2025年1月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院及び虎の門病院分院共同研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院、虎の門病院分院 責任者：川村 祐介のもと研究終了後も永年保管であり、廃棄はしません。

【診療情報を虎の門病院あるいは虎の門病院 分院外へ提供する場合】

虎の門病院本院から虎の門病院 分院へ診療情報提供を行うことはないが、虎の門病院分院から虎の門病院へ情報診療提供を行う際には、虎の門病院 分院患者の個人情報は対応表を用いて匿名化し、情報のみを USB などの記録媒体で提供いたします。

【利用する診療情報】

診断名、年齢、性別、身長・体重等の身体所見、既往歴・等の病歴、血液・生化学的所見等の採血所見、腹部エコー、CT、MRI、体組成等の画像・生理検査所見、病理組織検査所見、治療経過・薬の使用状況等

【研究代表者】

虎の門病院 肝臓内科 川村 祐介

【虎の門病院における研究責任者】

虎の門病院 肝臓内科 川村 祐介

【虎の門病院 分院における研究責任者】

虎の門病院 肝臓内科 分院 鈴木 文孝

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、平成 30 年 12 月 31 日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じるこ

とはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 肝臓内科、虎の門病院 分院 肝臓内科 川村 祐介

電話：虎の門病院 03-3588-1111(代表)

虎の門病院 分院 044-877-5111(代表)